

技術で豊かなまちづくり

冬号 (令和6年1月)

高知土木技士

No.74

(公社) 高知県土木施工管理技士会 [高知市本町4-2-15 建設会館2F TEL 825-1844]



宇佐大橋：昭和48年12月完成 橋脚耐震工事



令和5年度表彰 高知県優良建設工事施工者表彰

施 工

株式会社 龍生

工 事 名

道交地防安（耐震）第112-100-0602号
県道横波公園線防災・安全交付金（宇佐大橋）工事

工 事 場 所

土佐市宇佐町宇佐

現場代理人

毛利 善 和

主任技術者

畠 中 頼 一



新 年 挨 拶

(公社) 高知県土木施工管理技士会

会 長 田 邊 聖

新年あけましておめでとうございます。皆様にとりまして希望ある、より良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。

また、平素より当技士会の運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は海外におきまして、ロシア軍によるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・ハマス戦争といった国際情勢の不安定さが目立った一年でした。現在も多くの一般市民犠牲者を生んでおり、終結が見えない中、更なる長期化や新たな抗争も予測されているところです。

また、国内におきましても、海外情勢悪化の為、食料・資材不足が続いており、価格高騰が留まることがございません。建設現場におかれましても資材によっては調達に時間を要するなどといった悪影響を及ぼしております。

高知県内建設業界に目を向けますと、やはり人材不足が深刻な問題となっております。新資格による資格取得への緩和策など、国の対策として裾野を広げるべく実施しておりますが、まだまだ結果として表れていないようです。魅力ある業界として、新3K（給料が良く、休暇も多く、希望が持てる）への取り組みが必要とされております。

高知県技士会は、本年も引き続き今までの実績を踏まえつつ資格取得支援並びに技術講習、現場見学会の開催など土木施工管理技術に関する継続学習（CPDS）を実施すると共に、i-Construction等、新たなニーズに対応できるよう、技術者の技術力向上支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、学生への出前授業や様々なイベント活動への参加など、若手人材確保に向けた取り組みにも積極的に実施してまいります。

会員の皆様には、昨年同様に、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、各関係団体のご指導とご支援を賜りますことをお願い申し上げ、本年も会員の皆様のみますますのご発展、ご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



新 年 挨 拶

高知県土木部長 萩 野 宏 之

新年おめでとうございます。

高知県土木施工管理技士会の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろは、土木行政をはじめ県行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県においては、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、経済の活性化をはじめとする5つの基本政策を掲げ、様々な取り組みを進めているところです。

土木部では、基本政策の1つである「インフラの充実と有効活用」について、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を最大限に活用し、「安全・安心な高知」を実現させるため、南海トラフ地震や豪雨から県民の生命と財産を守るインフラ整備を強力に推進するとともに、くらしと経済を支える根幹となる四国8の字ネットワーク等の道路整備の促進をはじめ、浸水被害を防ぐ中小河川の治水対策や、土砂災害から人命を守る施設整備の推進、中山間地域の安全安心の確保にもつながる1.5車線の道路整備、既存インフラ施設の老朽化対策などの取り組みを進めています。

また、インフラの整備や維持管理、自然災害への対応などの重要な役割を担っている建設事業者が将来に亘って持続的に発展していけるよう、令和4年2月に改定した『高知県建設業活性化プラン』では、「人材確保策の強化」と建設現場のデジタル化による「生産性向上の推進」を大きな柱として取り組みを進めています。

このプランの柱となる取り組みとして、週休2日制モデル工事の拡大による「働きやすい労働環境整備」を進めるとともに、小・中・高校への出前授業や保護者も参加できる高校生の現場見学会、働き方改革支援研修、ICT技術研修会を行うなど、女性や若者が活躍できる環境の整備やデジタル技術の拡大に向けた取り組みを進めているところです。

こうした中、本県では、長年にわたる若年層の県外への転出超過によって若年人口、とりわけ女性の若年人口が減少しており、より多くの女性が本県に残り、いきいきと仕事ができる環境整備も重要な課題となっています。今後も建設業の魅力発信や労働環境の整備はもとより、さらなるデジタル技術の導入促進など、女性や若者の活躍に繋がる取り組みを強化してまいります。

今後もこうした取り組みを着実に進めるため、日ごろから技術力の研鑽や資質の向上に自ら励まれている高知県土木施工管理技士会の皆様には、これまで以上のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、高知県土木施工管理技士会のますますのご発展と、会員の皆様方にとって希望ある良き年になりますよう祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

★ 技術コーナー ★



～ 仁淀川加田堤防の完成について ～

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所長

小林 賢也

1. はじめに

仁淀川加田堤防は、仁淀川の河口から約13km～14kmの町の加田地区に位置し、築堤延長770mのうち、上流側約400mは旧堤防がありますが、必要な高さや天端幅が確保されておらず、下流側370mは仁淀川の左岸で最後の無堤部となっていました。

本稿では、平成24年度から築堤事業に着手し、令和5年7月に全区間の堤防整備が完成した仁淀川加田堤防についてご紹介させていただきます。



図-1 位置図

2. 事業概要

(1)事業期間

平成24年度～令和5年度

(2)用地取得

取得面積 約65,000m²・契約件数 約150件

(3)工事内容

築堤 L=770m

樋門 1基 (奥谷川樋門)

(4)総事業費

約21億円

※施工業者：延べ82社



写真-1 事業前後

3. 事業経緯

いの町加田地区では、明治の頃より地区の住民が、土地を無償で提供しあい共有地とし、この共有地に竹を植え、洪水被害の軽減を図ってきたという経緯があります。

その後、昭和20年代に上流側約400mには堤防が整備されましたが、この堤防は、高さや幅が不足した脆弱なものであり、また、下流側370mは堤防が存在しない無堤部のままとなっていました。

このような状況のため、加田地区では、昭和50年8月台風第5号による洪水で氾濫面積6.0ha、浸水家屋46戸、全半壊7戸の浸水被害が発生するなど、過去から繰り返し洪水による被害が発生しており、堤防の整備は、地区の悲願であったと伺っています。



図-2 整備着手前の状況

表-1 加田地区における主な浸水被害

出水年次	氾濫面積	床上浸水	床下浸水	全半壊
昭和50年8月 台風第5号	6.0ha	31戸	15戸	7戸
平成17年9月 台風第14号	3.0ha	2戸	5戸	-
平成26年8月 台風第11号	1.0ha	-	1戸	-



写真-2 加田地区における過去の浸水被害

このため、加田地区の浸水被害を解消するべく、平成21年度から堤防整備に必要となる測量を開始し、地元説明会や土地の境界立会などを進め、平成24年度に用地買収に着手し事業化となりました。

今般の堤防整備で、取得が必要となった用地は約65,000m²、関係権利者数は約150名となり、大変多くの方々から用地をご提供いただきましたが、特に特徴的だったのが、前述した竹を植えた共有地です。

この共有地の関係者は、登記名義人69名、法定相続人673名にも登ったことから、取得までには多大な時間を要することが懸念されていました。

しかし、地元のご協力により、登記の特例制度を活用して認可地縁団体「加田地区」を設立し、この団体に所有権を移転することが出来たことから、用地取得期間を大幅に短縮することが可能となりました。

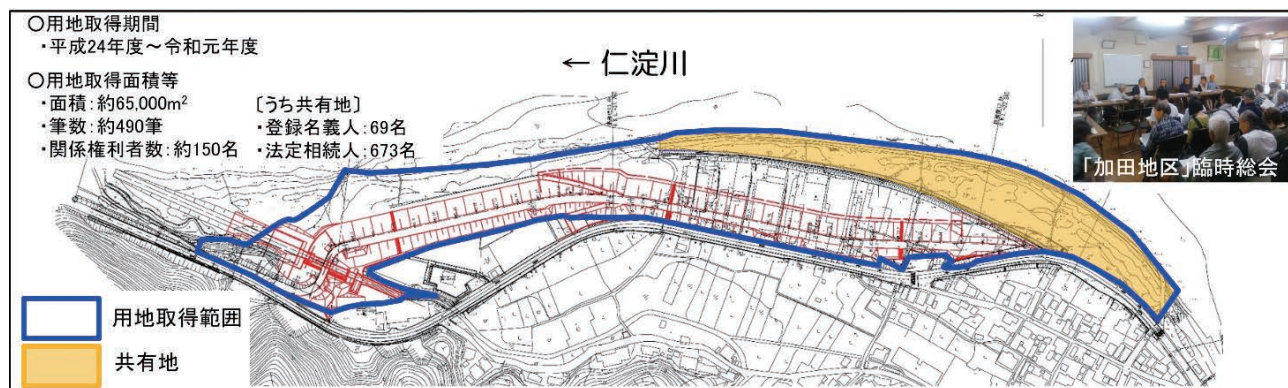


図-3 仁淀川加田堤防事業計画図

4. 工事概要

加田地区では将来的に14,000m³/sの洪水が流下しても耐えられるよう、高さ約3.5m、幅約27mの堤防を整備しました。

また、これまで無堤部で仁淀川に合流していた奥谷川については、堤防の整備に伴い樋門を新設しました。施工にあたっては、構造物の存在を感じさせないように、ゲートは門柱がない構造を採用することで、周辺環境との調和を図りました。

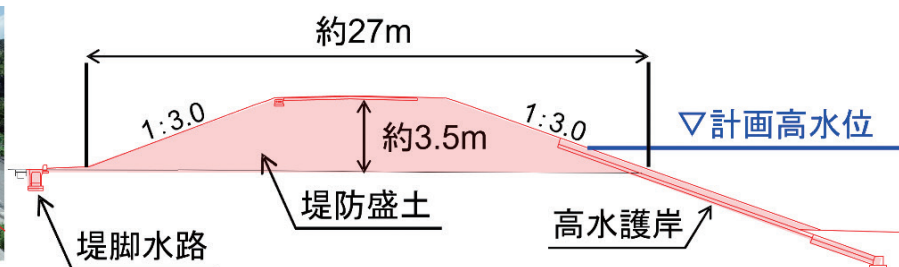


図-4 加田堤防標準断面図

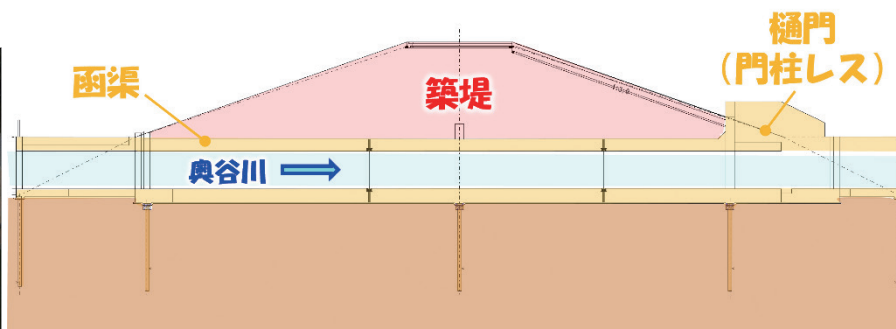


図-5 奥谷川樋門標準断面図

加田堤防の完成による事業効果については、堤防整備前の状況において、戦後最大の昭和38年8月洪水と同規模の洪水が発生した場合は、加田地区のほぼ全域が浸水し、浸水家屋68戸、約40億円の被害が想定されていたのが、今般の加田堤防の整備により、堤防の越水による被害を防止することが可能となり、地域の安全度が飛躍的に向上しました。

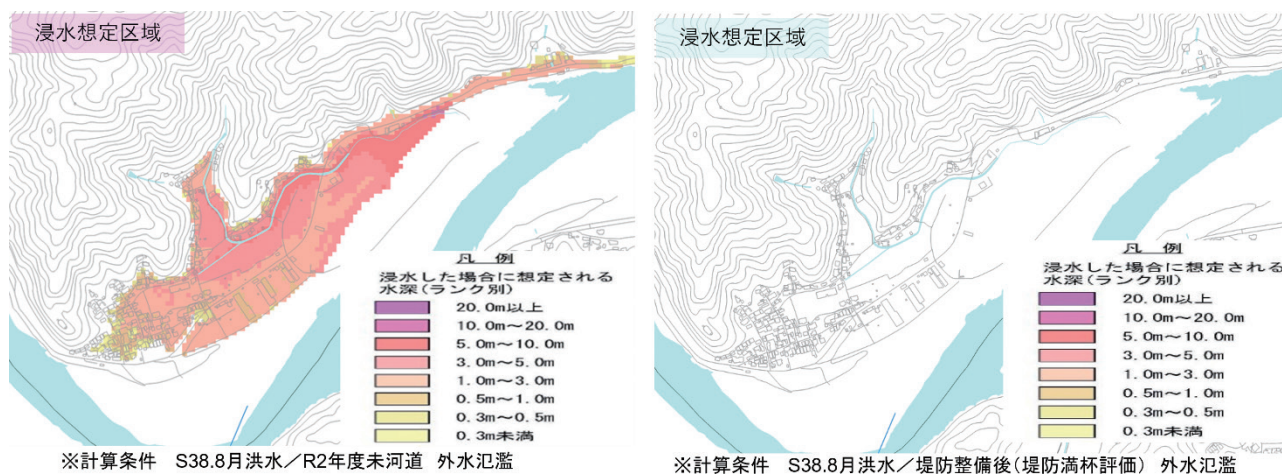


図-6 加田堤防の整備効果

ただし、堤防の整備により加田地区が完全に安全な地域になったわけではなく、目標流量を安全に流下させるためには、河道掘削などの更なる河川整備が必要となることから、高知河川国道事務所では、仁淀川流域の安全・安心のため、引き続き、河川整備事業を推進して参る所存です。

5. おわりに

多くの住民の方々のご理解とご協力をいただき、令和5年7月に全区間の堤防整備が完成し、仁淀川の洪水に耐えられる大きく強固な堤防が誕生しました。

この仁淀川加田堤防の完成を受け令和5年8月27日、加田堤防の高水敷において国会議員や地元関係者など約70名にご出席いただき「仁淀川加田堤防竣工式」を開催することができました。また、式典の終了後には仁淀川改修期成同盟会によるもち投げや祝賀会が行われ、盛大に完成を祝うことができました。

最後になりますが、いの町加田地区の地元関係者の皆様、用地を提供していただいた地権者の皆様、工事に携わっていただいた施工業者の皆様など、多くの方々の努力と協力で事業を完成させることができましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。



写真-3 仁淀川加田堤防竣工式



写真-4 仁淀川加田堤防

★ 会員の広場コーナー ★



作業船を用いた海上からの施工を生かした取り組み (県道横浪公園線防災・安全交付金(宇佐大橋)工事)

株式会社 龍生 畠 中 頼 一

1. はじめに

当工事は、県道横浪公園線の宇佐地区と横浪半島を結ぶ宇佐大橋における橋脚の耐震補強工事である。宇佐大橋は浦ノ内湾に出入りする漁船等の航路にあたり船舶の往来が多い海域であり、また、周辺には井尻地区集落や漁港そして学校、四国八十八箇所霊場、宿泊観光施設などがあり、付近には迂回路もなく多くの方が通行する重要な道路に架かる橋です。

2. 工事概要

工 事 名：県道横浪公園線 防災・安全交付金(宇佐大橋)工事

橋脚耐震補強工

橋脚巻立工 N=1 橋脚 (P13)

橋台の高さ H=9.6m

橋脚躯体幅 B=4.5m

コンクリート打設量 V=32m³



3. 施工特性

当初設計では橋脚に基地台船を設置し、海上より鉄筋・型枠組立を行い、コンクリート打設は交通規制を実施した橋上から打設する計画であった。

海上作業については潮汐による激しい潮流を考慮した作業船の配置、そして交通量の多い県道には通行に配慮した施工計画が求められた。

施工位置図



4-1 航路に接する橋脚を潮流の速い施工環境下において台風シーズンまでに施工を完了させる工程短縮の工夫

【対策4-1】係留杭設置で基地台船の安定化

現場海域は潮流が非常に速く、台船を係留する係留アンカーへの負荷が大きいため定点への長期係留が困難であり、また、付近を航行する船舶の航跡波により、台船が揺れてクレーン作業が困難になる為、係留杭設置で基地台船の安定化を図った。

バイブロハンマーによる鋼管杭打ち込み



係留用鋼管杭設置



基地台船係留状況



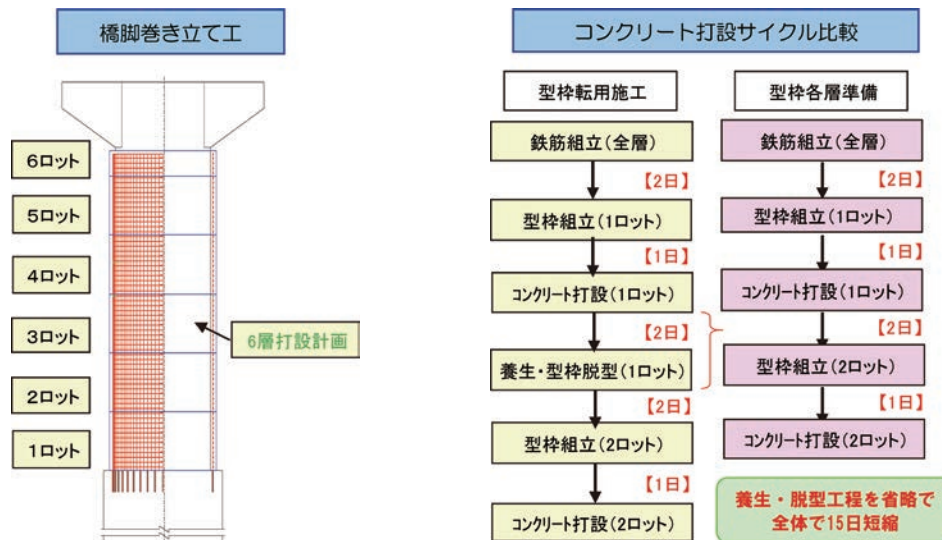
《係留杭設置の効果》

基地台船を係留杭で固定することで激しい潮流の影響による揺れを抑制でき、台船上のクレーン作業の安全性、施工性が向上し、また、長期係留が可能となり、基地台船の日々の曳航・係留に掛かる手間を無くしたことで工程の短縮に繋がった。

4-2 コンクリート打設サイクルの工程短縮

【対策4-2】型枠組立及びコンクリート打設の工夫

1～6 ロットのコンクリート打設の型枠組立からコンクリート打設までの施工サイクル短縮を検討し、全層分の型枠を用意することで、型枠脱型作業を最後の工程に廻して次ロットのコンクリート打設までの間隔の短縮を図った。



《コンクリート打設サイクルの効果》

6 ロット全層分の型枠を用意してコンクリート打設を行うことで、型枠転用・養生期間に伴う工程を短縮することが可能となった。また、基地台船の安定化により1日の型枠組立作業時間が増え、約35日の工程短縮を実現し台風シーズンまでに完成できた。

4-3 既存橋脚の損傷部対策と巻立てコンクリートの品質確保のための工夫

【対策4-3-1】詳細な現地調査と対応策の提案

着手時に既存橋脚の外観を観察したところ海面付近の損傷や劣化が多く見られた為、足場組立後、詳細な調査を実施し、橋脚の劣化や破損箇所を発注者に報告、対応策を補修の専門業者を交えて協議を行った。補修方法として下部の劣化や損傷が確認されたコンクリートを除去し、鉄筋の腐食部は防錆処理を実施、橋脚上部の巻立て工の範囲外のクラックにひび割れ注入工法による補修を提案し実施した。

劣化した鉄筋による
コンクリートの剥離状況



橋脚表面観察



クラック調査



《コンクリート損傷対策の効果》

詳細な現地調査により損傷箇所を発見・報告し、速やかに対応策を提案することで補修作業の追加による工程への影響を最小限にとどめることができた。

鉄筋防錆処理



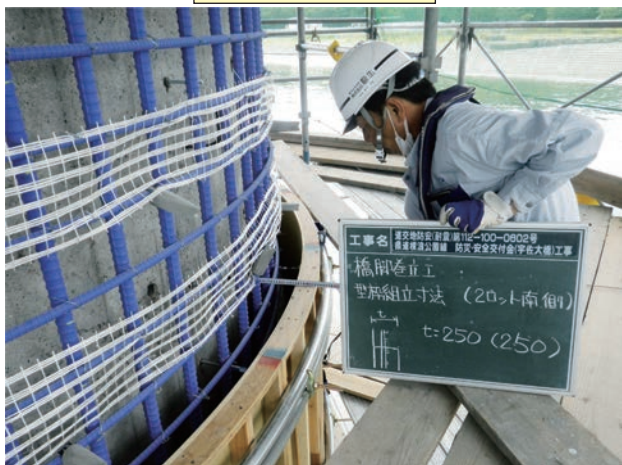
ひび割れ補修



【対策4-3-2】薄層のコンクリート巻き立てに自己充填性に優れる高流動コンクリートの使用

巻き立て厚さは25cmと薄く、大径鉄筋が配置された壁内でも確実にコンクリートを充填させる高流動コンクリートを使用し、自己充填性によりパイプレーター作業手間、コンクリート投入箇所へのポンプ配管移動回数を削減させた。

巻き立て厚さ25cm



高流動コンクリート・スラップフロー60cm



自己充填性によりパイプレーター作業手間、ポンプ配管移動回数を削減。

打設孔からの充填



高流動コンクリートの打設



《高流動コンクリート打設の効果》

高流動コンクリートを使用することで、1回打設あたりのコンクリート打設孔を9か所から3か所に減らすことが可能となりポンプ配管の移動手間や打設孔の閉孔作業が3分の1になり大幅な打設時間の短縮になった。

4-4 周辺地域に対する影響の大きい交通規制の回避の工夫

【対策4-4】大型台船を使用した海上からのコンクリート打設を実施し、交通規制を回避



《海上からのコンクリート打設の効果》

基地台船とは別に、クレーンを搭載した大型のスパッド（杭）付台船を使用し、コンクリート打設を行うコンクリートポンプ車とミキサー車2台を積載しコンクリート打設を行った。大型台船はスパッド（杭）で船体を固定できるため、潮流に左右される係留アンカー作業の必要が無く、目的の位置に台船をセットして素早く打設を開始することができた。

5. おわりに

厳しい作業環境下での施工であったが、発注者との綿密な協議や、地域住民・漁業関係者の皆様のご理解ご協力のおかげで無事故・無災害で台風期までに工事を完成させることができた。また、自社の所有船を持つ強みを活かした取り組みでコストを最小限に抑え、地域への交通影響を無くすこともできた。今後も現地の気象・地形条件と向き合い、工事で得た知識や経験を活かした工事を目指したいと思います。

KDJ (高知土木女子) のWA

公益社団法人 高知県建設技術公社

技術支援第一課 濱田 堇

私は元々「将来は建築の仕事がしたい!」と思い、高知工科大学に進学しました。しかし、建築・土木を幅広く学んでいくうちに、土木の方が楽しそうだな…と自然と将来の方向性が変わりました。小さい頃から、高知県の土木部で働いていた祖父に色々な話を聞いたり、実際に祖父が携わった道路やトンネルを一緒に見に行ったりしていたので、その影響もあったのかもしれません。

高知県建設技術公社に入社して7年が経ち、現在は主に市町村からのヘルプ対応や歩掛・単価改定等の土木積算システム管理を担当しています。システム担当になり2年目、まだまだ微力ではありますが、先輩方に教えて頂きながら日々業務に励んでいます。

入社した当時は、女性の技術職員が居らず不安なこともありましたが、現在では3名になり、当社も少しずつ女性の割合が増えてきました。(来年度も1名増える予定です!) これからも先輩方のご指導のもと日々経験を重ね、成長出来るよう頑張っていきたいと思います。



私の趣味は、カフェ巡りと舞台鑑賞です。友達と美味しいものを食べながらカフェでゆっくり過ごす時間は、良いリフレッシュとなっています。非日常が味わえる舞台も大好きで、今年いちばん印象に残っているのは、『The Beautiful Game』というミュージカルです。生の舞台ならではのエネルギー溢れる歌声に感動しました。舞台は配信等で気軽に観れる作品もあるのでお勧めです。

また、夏は毎年よさこい祭りに参加しています。今年は4年ぶりの通常開催となり、本当に嬉しかったです。

2024年も、仕事も趣味も充実させていきたいと思います!



次号はミタニ建設工業(株)の朝比奈亜美様、よろしくお願いいたします。

★ 委員会コーナー ★

このコーナーは、技士会の4委員会（総務、技術、研修、広報の各委員会）の委員の皆様方に、持ち回りで各委員会活動に関するものに限らず、自由なテーマでお願いしています。今回は、技術委員会です。

いにしへの石橋を訪ねて（熊本紀行）

研修委員 横田 昭彦

今から5年ほど前、熊本県の友人に誘われて橋の見学ツアーをしました。天草5橋や牛深ハイヤ橋、筑後川開閉橋など新技術を用いた橋りょうも見学しましたが、中でも熊本県（肥後藩）の誇る石工の技術に驚きました。

コンクリートのまだ無い江戸時代にアーチアクションを利用した石のかみ合わせにより、長さ、高さともに驚くような石橋が造られ、100年以上経った今でも現役で活躍しています。このコーナーでは熊本県で見学した「いにしへの石橋」を紹介します。



大窪橋（おおくぼばし）

竣工年	1849年	橋長	21.0m
熊本県上益城郡美里町		高さ	6.5m
		幅	2.7m



霊台橋（れいだいきょう）

竣工年	1847年	橋長	89.9m（日本最長）
熊本県上益城郡美里町		高さ	16.3m
		幅	5.45m



年祢橋（としねばし）

竣工年	1924年	橋長	60m
熊本県上益城郡美里町		高さ	24m
		幅	5.6m
出典：熊本県観光サイトより			



二俣橋(ふたまたばし)

竣工年 1830年 橋長 27.0m

熊本県上益城郡美里町 高さ 8.0m

幅 2.5m

出典：熊本県観光サイトより

二俣橋は2つの河川の合流点にかかる石橋で「双子橋」とも呼ばれています。11月～3月の昼前には太陽の光が橋の下にハートの形を映し出し「恋人の聖地」に登録されました。橋のたもとにはイチョウの大木があり、紅葉の時期はカメラマンの撮影ポイントで有名。



通潤橋(つうじゅんきょう)

竣工年 1854年 橋長 78m

熊本県上益城郡山都町 高さ 21.3m

幅 6.6m

出典：熊本県観光サイトより

通潤橋は水不足に悩む白糸大地に水を送るために建造された水路橋です。一日に一回水路の維持管理のため放水を行っています。私が見学した時は熊本地震により一部が倒壊して補修中であつたため放水は見られませんでした。

おわりに

熊本にあるいにしへの石橋を探訪して、江戸時代での熊本(肥後藩)の石工の技術の高さに驚きました。熊本城の城壁の石垣は登りやすそうに見えて、容易く登れないいわゆる極端な「テラ勾配」になっています。築城した加藤清正は、その後も石工に技術を磨かせ、大切に扱ったと思います。

肥後の石工は有名であつたため、各地から石工事の要請があつたようです。幕末に隣の藩の薩摩(討幕派)からの依頼で石工事を行った石工たちは、薩摩の情報を幕府側に漏らされるのを防ぐため、肥後藩との境界付近で薩摩藩士に全員銃殺され、肥後の石工の数は激減したとの言い伝えがあります。

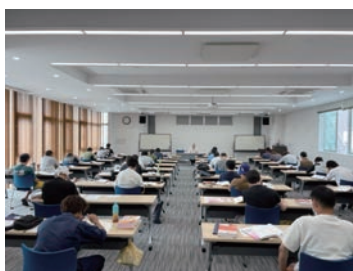


写真で見える技士会活動状況

【8月30・31日】
1級土木2次検定受験講習会



【9月12・13・14日】
2級土木学科受験講習会



【10月3日】
監理技術者講習



【11月9日】
JCMセミナー



令和5年度土木施工管理技術講習会（Bプログラム）



【10月24日】 幡多会場



【10月25日】 高知会場

【11月7日】 四国4県統一テーマ技術講習会



【11月22日】 秋季会長会議
（四国土木施工管理技士会連合会）



コンクリート技術講習会



【12月4日】 幡多会場



【12月5日】 高知会場

どぼく・ぼうさい出前授業



【9月2日】高知県立小津高校



【10月31日】土佐塾中学校



【11月21日】高知国際中学校



KDJ（高知土木女子）活動



【11月28日】伊與木川高架橋上部工 現場見学



【11月28日】意見交換会・ランチ会

【11月19日】建設フェスタ2023（高知中央公園）



事務局より

令和5年度4月～11月末まで（公社）高知県土木施工管理技士会の状況について

(1) 組織（会員）の現状

①高知県土木施工管理技士会員の状況報告

	5.3.31	5.11.30	増 減
正会員（個人）	2,289名	2,286名	-3名
賛助会員（個人）	380名	377名	-3名
賛助会員（団体）企業数	277社	278社	+1社
賛助会員（団体）口数	453口	454口	+1口

(2) 技術力の維持・向上に関する事業

①土木施工管理技術検定試験受験準備講習会の実施

実 施 日	内 容	受講者数（前年）	会 場
6月14日（水）～16日（金）	1級1次（前半）	20（26）	高知県建設会館 4階
6月14日（水）～16日（金）	1級1次（後半）	20（26）	高知県建設会館 4階
8月30日（水）～31日（木）	1級2次	32（30）	高知県建設会館 4階
9月12日（火）～14日（木）	2級（1次・2次）	32（20）	高知県建設会館 4階

②土木施工管理技術講習会の実施（土木施工管理）

実 施 日	講 習 名	受講者数（前年）	会 場
6月27日（火）	土木施工管理技術講習会	117（112）	高知城ホール
6月30日（金）	土木施工管理技術講習会	89（107）	大方ふるさと総合センター
7月4日（火）	土木施工管理技術講習会	83（79）	田野町ふれあいセンター
10月25日（水）	土木施工管理技術講習会	62（79）	大方ふるさと総合センター
10月26日（木）	土木施工管理技術講習会	104（101）	高知城ホール
10月27日（金）	JCMセミナー	23（58）	高知県建設会館 4F
11月7日（火）	四国4県統一セミナー	31（55）	高知商工会館
11月9日（木）	JCMセミナー	33（55）	高知県建設会館 4F
12月4日（月）	コンクリート技術講習会	12（-）	大方ふるさと総合センター
12月5日（火）	コンクリート技術講習会	15（-）	高知県建設会館 4F

③監理技術者講習【法定講習】の実施

実 施 日	受講者数 (前年)	会 場
5月2日 (火)	50 (59)	高知県建設会館 4F
7月25日 (火)	68 (50)	高知県建設会館 4F
10月3日 (火)	36 (39)	高知県建設会館 4F
12月12日 (火)	24 (27)	高知県建設会館 4F
2月6日 (火)	(60)	高知県建設会館 4F

④その他

・どぼく・防災出前授業

実 施 日	参加者数	対象学校
6月4日 (日)	36名 (1年生)	安芸市立安芸中学校
6月27日 (火)	30名 (1年生)	私立高知高等学校
7月12日 (水)	21名 (3年生)	いの南中学校
7月27日 (木)	4名 (2年生)	私立高知学芸高校
9月2日 (土)	4名 (2・3年生)	高知県立小津高校
10月31日 (火)	170名 (3年生)	私立土佐塾中学校
11月21日 (火)	4名 (2年生)	高知県立国際中学校

・KDJ (高知土木女子) 活動

実 施 日	参加者数	内 容
8月1日 (火)	32名	南国安芸道路遠隔現場視察・ランチ会
10月18日 (水)	16名	南国安芸道路 3D プリンター現場見学会
11月19日 (日)	11名	高知建設フェスタ ブース出展
11月28日 (火)	18名	伊尾木川橋上部工工事現場見学会・ランチ会

令和6年度 1, 2級土木施工管理技術検定試験と講習会のご案内

～土木施工管理技士を目指して～

（一財）全国建設研修センターが建設業法に基づいて実施します「検定試験」、また、（公社）高知県土木施工管理技士会が行います「受験準備講習会」を次のとおり予定しています。

なお、申込用紙（願書）の販売方法、講習会への受講申し込み方法については、決定次第会員各位の所属会社あてにご案内文書をメール送信いたします。（ホームページでも公開いたします<http://www.kochigisi.or.jp>）

～ 実 施 予 定 ～

●令和6年度 1, 2級土木施工管理技術検定 日程表

	1級土木		2級土木 1次・2次検定 （後期試験）		2級土木 1次検定（前期試験）	
申込用紙の販売	令和6年2月23日（金）～4月5日（金）		令和6年6月17日（月）～7月17日（水）		令和6年2月23日（金）～3月21日（木）	
申込用紙 販売金額	1部600円		1部600円		1部600円	
申込受付期間	令和6年3月22日（金）～4月5日（金）		令和6年7月3日（水）～7月17日（水）		令和6年3月6日（水）～3月21日（水）	
試験日	（1次）	令和6年7月7日（日）	（1次・2次、 2次）	令和6年10月27日（日）	（1次）	令和6年6月2日（日）
	（2次）	令和6年10月6日（日）			（2次）	－
合格発表	（1次）	令和6年8月15日（木）	（1次）	令和6年12月4日（水）	（1次）	令和6年7月2日（火）
	（2次）	令和7年1月10日（金）	（2次）	令和7年2月5日（水）	（2次）	－
近隣試験会場	高松		高知		高松	

※2級土木 1次検定のための申込用紙販売につきましては、当技士会では取り扱いしておりません。

（一財）全国建設研修センター（042-300-6860）までお問合せ願います。

●令和6年度 1, 2級土木施工管理技術検定 受験準備講習会日程表

	1級土木（1次）		1級土木（2次）		2級土木（1次・2次）	
実施日	（前半）	令和6年6月11日（火）～6月13日（木）	令和6年8月28日（水）～8月29日（木）		令和6年9月10日（火）～9月12日（木）	
	（後半）	令和6年6月18日（火）～6月20日（木）				
受講料	（会員）	50,000	（会員）	23,000	（会員）	35,000
	（一般）	55,000	（一般）	29,000	（一般）	40,000
再受講者割引（前 年度当講習会参加 者）	（会員）	40,000	（会員）	20,000	（会員）	28,000
	（一般）	45,000	（一般）	25,000	（一般）	33,000
実施会場	高知県建設会館		高知県建設会館		高知県建設会館	

技士会の

監理技術者講習

CPDS代行申請

講師による対面講習！ ～”現場経験談”が聞ける

申し込みはインターネットからがおトク！

- 12ユニット^⑥取得できます。さらに試験で会場平均点以上得点した方はさらに3ユニット追加。

これら学習履歴の申請手続きは一切不要です。 ⑥:上限のある形態コードです

但し、4年以内の受講は6ユニットになります。

- 映像講習ではなく、経験豊かな地元講師による講習です。

- お得なインターネット申し込み価格は9,570円！手数料のかからないコンビニ支払いが便利です。

※郵送でのお申し込みも受け付けます。受講料9,900円(要写真添付・郵便振替でのお支払いとなります。)

(郵送先は 一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 まで)

令和6年度の監理技術者講習開催予定

開催日	時間	講習会場
令和6年4月19日(金)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和6年7月23日(火)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和6年10月4日(金)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和6年12月3日(火)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和7年2月18日(火)	9:00～16:30	高知県建設会館4F